

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

復興対策基礎基盤研究プログラム

事後評価総合所見

研究課題名：難分析核種用マイクロスクリーニング分析システムの開発	
研究代表者（研究機関名）：塚原 剛彦（東京工業大学）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：石森 健一郎（日本原子力研究開発機構）	
研究期間及び研究費：平成26年度～平成28年度（3年計画） 60百万円	
項目	要約
1. 研究の概要	<p>マイクロ化学チップ上に、フォトニック結晶と感応性高分子から成る金属イオンセンシング機能を組み込む技術を確立し、難分析核種を迅速・簡便に分析できるマイクロ核種スクリーニング分析システムを開発することを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 金属イオンセンシングマイクロ流路の構築2) マイクロ液滴制御によるハイブリッド固液抽出3) マイクロ分析システムの高度化
2. 総合評価	<p>A</p> <p>難分析核種を迅速に分析するという着想は良く、また、難しい計測にチャレンジしていることは評価できる。</p> <p>迅速・簡便に核種の分離、分析が可能な技術として大いに期待できるため、今後は1つずつ課題を解決して欲しい。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>